

【50・60代グループ】

- ◆表題 七尾市民憲章
- ◆前文 わたくしたちは、
四季をおりなす自然と先人の知恵に感謝し、
七尾市民であることに誇りを持ち、
未来に羽ばたく住みよい
豊かなまちづくりを目指して、
次のことを実践していきます。
- ◆本文
 - 一、美しく豊かな自然を大切にすまち
 - 一、歴史と文化を尊び学びあうまち
 - 一、産業を活性化し生きる喜びのもてるまち
 - 一、明るい声が響きあう笑顔のまち

【説明】

想いだけでなく、日常生活の規範にしたいという願いを前文の「実践していきます」に込めた。

「何のために、誰のために」を問いながら、旧の憲章を参考にして、七尾市民であることの自覚と一体感を出した。



【30・40代グループ】

- ◆表題 私たちのみちしるべ
- ◆副題 ～七尾市民憲章～
- ◆前文 私たちはこのみちしるべのもと、
こころのつながりを大切にし、
ぬくもりあふれるまちをめざします。
- ◆本文
 - 一、歴史と共に湯っきり歩むまち
 - 一、笑いが広がり夢あふれるまち
 - 一、健やかに安心して暮らすまち
 - 一、豊かな自然を愛し守り育てるまち

【説明】

子どもでも覚えやすく、いつでも唱和できるように、本文の数を減らし、中身を凝縮したものにまとめた。最初の条文の「湯っきり」には、あえて温泉の「湯」の文字を使った。自分たちが実行できる目標を掲げた。

【70代以上グループ】

- ◆表題 七尾市民憲章
- ◆副題 わたくしたちの誓い
- ◆前文 あおい海とみどりの山にいだかれたふるさとを愛し
誇りある文化と歴史をうけつぎ
豊かで安心して暮らせるまちをめざします
- ◆本文
 - 一 産業が発展する賑わいのある港と観光のまちをつくりましょう
 - 一 温かい心がふれあうやさしいまちをつくりましょう
 - 一 環境の美化につとめ 緑と花の美しいまちをつくりましょう
 - 一 心身を鍛え 個性豊かな学びあいのまちをつくりましょう
 - 一 働く喜びを大切にし 助け合って住みよいまちをつくりましょう

【説明】

表題は市民との距離が感じられるので、実践することを願い、副題を付けた。文末を「～しましょう」と統一し、やわらかい調子でまちづくりに誘い込む意志を表記した。

新七尾の山・里・海の美しい自然を愛し、住み続けたいと思えるまちづくりをしたい。

